

三六災害40周年

伊那谷の土石流と満水



三六災害40周年

伊那谷の土石流と満水

第1部 伊那谷の土砂災害をみなおす

- 1. サブロクサイ(三六災)は「満水」だった — 2
- 2. 土石流が伊那谷をつくる — 3
- 3. 三六災と土石流 — 4~7
- 4. 活断層と土石流 — 8~10

第2部 災害の現場を訪ねて — 11

山麓部での土砂災害 土石流と一夜扇状地 — 12~13

①王竜寺川 権現山が崩れてくる — 14~15

②伊賀良 一夜でできた“扇状地” — 16~17

天竜川本流の氾濫 自然にかえる氾濫原 — 18~19

③川路・天龍峡 土砂に埋まった川路銀座 — 20~21

④松尾・下久堅 洪水のたびに村境争いをくりかえす — 22~23

大きな支流の氾濫 支流が天竜川をせき止める — 24~25

⑤野底川 市街地を埋めた土石流 — 26~27

⑥飯田松川 土石流が運んできた七妙石 — 28~29

⑦大島川 劇的、惣兵衛堤防の最後 — 30~31

竜東の災害 山が抜け、田が流れる — 32~33

⑧生田 マサ土の前庭に地割れが走る — 34~35

⑨四徳 村を押し流した土石流 — 36~37

⑩新宮川 集落は孤立し山を越して連絡しあう — 38~39

中央構造線沿いの災害 動く破砕帯 — 40~41

⑪大西山・北川 山が動いた — 42~43

⑫遠山谷 水と土砂の猛威から村人を守った「水の王」 — 44~45

第3部 自然を主人公に

災害をどのように見るか — 46

災害をどうすべきか — 47

自然への対応 自然の中のわたしたち — 48



▲裏表紙写真：野底川下流部の氾濫・飯田市東中央通りと上郷町城東(昭和36年6月末撮影)

表紙写真：大鹿村大西山の崩壊(昭和36年8月撮影)▶

伊那谷の土石流と満水 三六災害40周年

本書は1991年に30周年を機に発刊しました。2001年の40周年を迎えるにあたり、各方面からの要望で再版しました。

編 集●松島信幸・亀田武巳・村松 武

調査・写真・執筆●松島信幸・亀田武巳・村松 武・寺岡義治・菅沼良夫・岸元良輔

写真提供●市立飯田図書館・竹村庄平・小松谷雄・小池金義・北原親房・山本 清・矢沢 昇

調査協力 遠山信一郎・中村幸明・今村真直・松澤秀明・小木曾勝弥

建設省天竜川上流工事事務所・中日新聞社・信濃毎日新聞社

■発行 伊那谷自然友の会・飯田市美術博物館

飯田市追手町2-655 TEL0265-22-8118 1991年(平成3年)12月30日 第1刷発行
2001年(平成13年)5月1日 第2刷発行



1,500

伊那谷自然友の会
入 会 案 内

会費一普通会员 年2,000円・賛助会員 年4,000円
入会方法と申込先一飯田美術気付伊那谷自然友の会事務局に申込む
会費送金方法一郵便振替口座番号・00520-9-20268

伊那谷自然友の会 飯田市美術博物館